

# 新医師臨床研修制度における指導ガイドライン

試行版

はじめに

# 臨床研修の基本理念

臨床研修は、医師が、医師としての人格をかん養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身に付けることのできるものでなければならない。

－ 医師法第16条の2第1項に規定する医師臨床研修に関する省令 －

# 第150回国会参議院国民福祉委員会附帯決議

－平成12年11月－

医師及び歯科医師の臨床研修については、インフォームドコンセントなどの取組みや人権教育を通じて医療倫理の確立を図るとともに、精神障害や感染症への理解を進め、更にプライマリーケアやへき地医療への理解を深めることなど全人的、総合的な制度へと充実すること。その際、臨床研修を効果的に進めるために指導体制の充実、研修医の身分の安定及び労働条件の向上に努めること。

## 新医師臨床研修制度における指導ガイドライン試行版の公表にあたって

医師の卒後臨床研修につきましては、日頃から関係者の皆様にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

21世紀を迎え、少子高齢化の進展、疾病構造の変化の下で、質の高い医療を確保し、医療需要に見合った適正かつ効率的な医療提供体制を確立することが求められております。なかでも、良質な医療を安定的に提供するためには、それを担う医師の資質の向上が不可欠です。

こうした時代の要請に応えられる医師を養成することを目的に、平成12年に「医師法改正を含む医療法等の一部を改正する法律」が成立し、この法改正を受けて、平成16年4月から臨床研修を必修化する新医師臨床研修制度が実施されました。新たな医師臨床研修制度の創設はインターン制度廃止以来36年ぶりの大幅な改革です。

新制度においては、医師としての人格の涵養を図り、プライマリ・ケアへの理解を深め、患者を全人的に診ることができる基本的診療能力を獲得し、アルバイトをせずに研修に専念できる環境を整備することを基本的な理念としています。

この理念の実現のために、研修分野については、内科、外科、救急部門(麻酔科を含む)、小児科、産婦人科、精神科、地域保健・医療の7分野が必修とされるとともに、各臨床研修病院は「臨床研修の到達目標」を達成するような研修プログラムを有することとされています。

新制度においては、臨床研修病院の指定基準の変更に伴い、全国で1,400を超える臨床研修病院が新たに誕生し、第一線で活躍する多くの医師たちが、豊富な臨床経験や地域保健・医療の経験を生かして研修医の指導を担当することになりました。旧制度の下では、指導方法等に関する統一された指針がなく、個々の指導者の判断により指導が行われていましたが、新制度を充実したものにするには、全国の臨床研修の指導水準の確保が重要です。

そこで、平成16年3月に医師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針が提示され、現在はこの指針に従い、様々な団体の主催により指導医講習会が開催されているところです。これに加え、このたび、指導者のための指導ガイドラインを作成することとしました。

本ガイドラインの作成にあたっては、「医師臨床研修指導ガイドライン作成検討会」においてガイドラインの趣旨や作業の進め方等についてご検討いただきました。

その方針に沿って「医師臨床研修指導ガイドライン作業班」を設置し、この作業班と国立保健医療科学院が中心となって、必修7分野に関連する団体や学会等の協力を頂きながら、本ガイドラインを作成し、これまでにでき上がった部分を試行版として公表するものです。未完の部分についても、今後、でき次第順次公表する予定としております。

本ガイドラインの試行版は、国立保健医療科学院のホームページ上に公開し、自由にダウンロードしてご使用していただくことにしました。今後、研修医の指導にあたる皆様方に実際に使っていただき、ご意見を頂戴しながら、改善を重ねていき、最終的には平成19年度に完成版を作成したいと考えております。

皆様におかれましては、本ガイドラインを研修医教育のための指針としてぜひご利用いただくとともに、評価やご意見をいただき、よりよいガイドラインとなるようご協力いただきますようお願い申し上げます。

今後とも、21世紀の医療を担う医師の養成のために、よりよい臨床研修の体制づくりに努力してまいりたいと考えておりますので、関係各位の御協力を引き続きお願い申し上げます。

平成17年7月

厚生労働省医政局医事課長  
中垣 英明

# 本ガイドラインの特徴

## 1. ガイドラインの対象:

すべての臨床研修病院、大学病院、臨床研修協力施設において研修医の指導に当たる指導医(者)を中心としたスタッフを対象とする。

## 2. ガイドラインの基本的な考え方:

ガイドラインは厚生労働省が平成15年6月12日の省令施行通知で示した「臨床研修の到達目標」に準拠し、到達目標達成を可能とするための指導方法及び評価について記述したものである。

プライマリ・ケアの理念に沿って、臓器別の縦割りではなく全人的な医療に基づいた指導を支援するため、あえて研修科目毎の構成とせず、むしろ、到達目標にあるような、科目横断的な構成を取ることとした。また、症例ベースの例示を行い、1つの症例において個々の到達目標がいかに達成されるのかについて提示することとした。

## 3. ガイドラインの構成:

ガイドラインは大きく本編と資料編に分かれている。

### 1) 本編

本編においては研修医を指導する際の要点を記載した。

**第1章 指導体制・指導環境**では、研修の指導体制や研修を支えるための環境について、モデル例を示すとともに、指導者が認識しておくべき関連情報や視点を示した。

「指導体制」においては、法で定められた臨床研修病院における指導体制について述べた。

「各種研修スケジュール例」では研修科目毎の年間、週間スケジュールを例示した。

「オリエンテーション」では研修開始にあたってのオリエンテーションの一例を示した。

「IV指導医」では、指導医の資格要件、研修、処遇などについて示した。

「V指導調整」では、研修システム全体としての研修内容の確認と調整について述べた。このうち「1-6)症例の選択」では、「経験が求められる疾患・病態」において、プライマリ・ケアの研修効果を高めるためにどのような症例を受け持たせるべきかにつき説明した。

「VI学習環境整備」では、研修医の労働・研修時間、ストレスやうつ病の問題を始め、問題となる研修医に対してどのように対応すべきかなど、現場での問題解決に有用な情報を記載

した。

**第2章 指導方法**では、研修到達目標の達成に向けて指導者として知っておくべき指導方法を理論面と実践面に分けて紹介した。

「理論編」では、医学教育分野において指導者として知っておくべき教育理論の基礎を述べ、引き続き実践編の理解が容易になるように配慮した。

「実践編」では、研修医の指導にすぐに役立つ実戦的な秘訣やコツ等を紹介し、指導における負担を軽減し、有効な指導がなされるように配慮した。

**第3章 評価**では評価方法に関する基本的な理論などについて紹介した上で、行動目標などの評価において特に有用と思われるコンピテンシーモデルを用いた評価について解説した。

「評価の理論と方法」では、これまで指導講習会等で紹介されてきた標準的な方法に加え、近年医学教育分野において用いられることの多いポートフォリオ評価についての紹介も行った。

「コンピテンシーモデルを用いた「行動目標」の評価」においては、最近企業のみならず医療分野でも利用されることの多い「コンピテンシー評価」(第4章I - 4「安全管理」の項目も参照)の理論と実際を紹介し、この手法を用いた到達目標の設定及び評価方法について、事例に則して説明した。

**第4章 到達目標の解説**では、実際にどのような機会にどのような項目の指導を行うことが望ましいのか、到達目標の表現だけでは具体的にイメージすることが困難になりがちな項目について、例示を行った。

「行動目標の解説」では、到達目標に書かれた項目についてさらに詳しい解説を加え、具体的に何が求められているのかが明確になるようにした。とくに、研修の現場における喫緊の問題である「4.安全管理」については、近年医療分野でも標準的な手法となりつつある「コンピテンシー」の概念を取り入れ、研修現場で実際に使用しやすい形で提示した。なお、医療安全については、今後、本ガイドラインの「資料編」に多くのマニュアルやフォームを掲載して内容を充実させる予定である。

「経験目標の解説」では、「1.経験すべき診察法・検査・手技」において、各項目における到達目標の達成度について、到達度の具体的な目安を設定して「何をもって到達目標を達成したか」を例示することによって、研修医の指導と評価をよりの確に行えるようにした。

「2.経験すべき症状・病態・疾患」は新医師臨床研修制度の理念を具現化した本ガイドライ



ンの最大の特徴ともいえる部分であり、1つの症例について、例えば、発病してから 救急  
集中治療室 一般病棟 リハビリテーション 退院を経て地域社会に復帰するまでを時  
系列で示し、その過程の中で様々な医療者がどのように関与し、どのように全人的かつ臓器  
横断的なアプローチがなされるべきであるかをマトリックス図で示したものである。この図の  
中で、個々の手技や検査の何が、どのように経験され、到達目標のうち何がどの程度達成  
可能であるのかについて、具体的に提示した。ともすれば、高度先進医療を志向し、全人的  
アプローチを忘れ、疾患単位、臓器単位になりがちな研修を防ぐための1つの方法であると  
考えられる。

なお、本編がいたずらに長くなることを防ぎ、かつ研修医の指導上有用な資料を数多く紹  
介するため、以下の資料編を設けた。

## 2) 資料編

資料編においては、さらに詳しい情報や研修医を指導する際に有用なマニュアルや文献  
等を掲載した。また、役に立つ情報を掲載しているインターネットウェブサイトの紹介も行った。  
なお、ここに掲載されている資料の掲示や配布等を行う場合には、引用元を示してある資料  
については、その引用元を、その他の資料については、このガイドラインの名称を、それぞれ  
明示して使用して頂きたい。

### 4. 「新医師臨床研修制度における指導ガイドライン」ホームページ:

本ガイドラインの内容のすべては、国立保健医療科学院の「新医師臨床研修制度におけ  
る指導ガイドライン」ホームページ (<http://www.niph.go.jp/>) 上に公開される。画面上で閲覧で  
きるのみならず、必要に応じてガイドラインの内容をPDFファイルとして各自のコンピューター  
にダウンロードし、自由に印刷して使用することができる。順次、内容を更新をしていく予定で  
あるので、定期的にホームページを確認頂きたい。

# 新医師臨床研修制度における指導ガイドライン作成関係者

平成18年 2月14日現在

## 医師臨床研修指導ガイドライン作成検討会（厚生労働省医政局医事課長私的検討会）

倉本 秋 高知大学医学部附属病院長  
齋藤宣彦 聖マリアンナ医科大学教授（ 、座長）  
堺 常雄 聖隷浜松病院院長  
篠崎英夫 国立保健医療科学院長  
橋本信也 日本医師会常任理事

## 医師臨床研修指導ガイドライン作成検討会 作業班

大滝純司 東京医科大学病院総合診療科教授（ 、班長）  
川南勝彦 国立保健医療科学院公衆衛生政策部主任研究官  
朔 義亮 雪ノ聖母会 聖マリア病院健康科学センター診療部長  
新保卓郎 国立国際医療センター研究所医療生態学研究部長（前京都大学医学部附属病院総合診療部助教授）  
名郷直樹 （社）地域医療振興協会地域医療研修センター長  
前野哲博 筑波大学附属病院総合臨床教育センター助教授

## 平成16年度厚生労働科学研究費補助金（厚生労働科学特別研究事業）

### 医師臨床研修指導医ガイドラインに関する研究班

加藤則子 国立保健医療科学院研修企画部長  
川南勝彦 国立保健医療科学院公衆衛生政策部主任研究官  
曾根智史 国立保健医療科学院公衆衛生政策部長（ 、主任研究者）  
種田憲一郎 国立保健医療科学院政策科学部主任研究官  
林 謙治 国立保健医療科学院次長

## 平成17年度厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業

### 新医師臨床研修制度における研修医指導に関する研究班

石川雅彦 国立保健医療科学院政策科学部安全科学室長  
大滝純司 国立保健医療科学院人材育成部客員研究員（東京医科大学病院総合診療科教授）  
岡本悦司 国立保健医療科学院経営科学部経営管理室長  
加藤則子 国立保健医療科学院研修企画部長  
川南勝彦 国立保健医療科学院公衆衛生政策部主任研究官  
小山秀夫 国立保健医療科学院経営科学部長  
鈴木康裕 国立保健医療科学院企画調整主幹  
曾根智史 国立保健医療科学院公衆衛生政策部長  
橋とも子 国立保健医療科学院人材育成部主任研究官  
田中哲郎 国立保健医療科学院生涯保健部長  
種田憲一郎 国立保健医療科学院政策科学部主任研究官  
長谷川敏彦 国立保健医療科学院政策科学部長  
林 謙治 国立保健医療科学院次長  
水嶋春朔 国立保健医療科学院人材育成部長（ 、主任研究者）

## 臨床研修指導ガイドライン作成協力関係団体および担当者

### 内科系関係学会

日本内科学会	石橋大海	独立法人国立病院機構長崎医療センター臨床研究センター長
日本臨床内科医会	小松寛治	本荘第一病院院長
プライマリ・ケア教育連絡協議会	江村 正	佐賀大学医学部付属病院卒後臨床研修センター専任副センター長
在宅かかりつけ医を育てる会		
地域医療振興協会		
日本家庭医療学会		
日本総合診療医学会		
日本プライマリ・ケア学会		
日本老年医学会	三木哲郎	愛媛大学医学部老年医学講座教授
日本皮膚科学会	尹 浩信	東京大学医学部皮膚科学講座助教授

### 外科系関係学会

日本外科学会	廣橋一裕	大阪市立大学医学部附属病院総合診療センター長
日本臨床外科学会	万代恭嗣	社会保険中央総合病院外科副院長
日本手術医学会	大久保憲	東京医療保健大学医療情報学科感染制御学教授
プライマリ・ケア教育連絡協議会	袁輪良行	聖マリアンナ医科大学病院救命救急センター長
在宅かかりつけ医を育てる会		
地域医療振興協会		
日本家庭医療学会		
日本総合診療医学会		
日本プライマリ・ケア学会		
日本脳神経外科学会	鈴木倫保	山口大学脳神経外科教授
日本整形外科学会	川口 浩	東京大学整形外科学助教授
日本泌尿器科学会	齋藤史郎	独立行政法人国立病院機構東京医療センター泌尿器科医長
日本耳鼻咽喉科学会	大久保公裕	日本医科大学耳鼻咽喉科助教授
日本眼科学会	天野史郎	東京大学医学部眼科学助教授
日本輸血学会	半田 誠	慶應義塾大学医学部輸血・細胞療法部助教授

### 小児科系学会関係

日本小児科学会	中畑龍俊	京都大学大学院・発達小児科学教授
日本小児科医会	別所文雄	杏林大学小児科教授
日本小児救急医学会	羽鳥文麿	千葉県こども病院麻酔科集中治療科部長
日本外来小児科学会	柳沢正義	日本子ども家庭総合研究所
日本未熟児・新生児学会	田村正徳	埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター教授
日本周産期・新生児医学会		

### 産婦人科系学会関係

日本産科婦人科学会	平原史樹	横浜市立大学大学院医学研究科産婦人科教授
日本産科婦人科医会	是澤光彦	東京都教職員互助会三楽病院産婦人科部長

## 地域保健・医療

### へき地・離島診療所関連学会関係

プライマリ・ケア教育連絡協議会 名郷直樹 (社)地域医療振興協会地域医療研修センター長  
地域医療振興協会  
日本家庭医療学会  
日本プライマリ・ケア学会  
日本総合診療医学会  
在宅かかりつけ医を育てる会

### 中小病院・診療所関連学会関係

日本医師会 今村 聡 東京都医師会理事  
全国自治体病院協議会 宮城良充 沖縄県立中部病院副院長  
全国国民健康保険診療施設協議会 高山哲夫 全国国民健康保険診療施設協議会副会長

### 介護老人保健施設、社会福祉施設関連学会関係

日本療養病床協会 木下牧子 初台リハビリテーション病院院長

### 赤十字社血液センター関連学会関係

日本赤十字社 田所憲治 日本赤十字社血液事業本部経営会議委員

### 各種検診・健診関連学会関係

全国労働衛生団体連合会 福田崇典 社会福祉法人聖隷福祉事業団理事・保健事業部長  
日本対がん協会 斎藤貴生 (財)福岡県対がん協会会長

### 保健所関連学会関係

日本衛生学会 相澤好治 北里大学医学部衛生学公衆衛生学教授  
日本公衆衛生学会 多田羅浩三 放送大学教授、徳永力雄 関西医科大学常務理事  
全国保健所長会 角野文彦 滋賀県長浜保健所長  
全国衛生部長会 納谷敦夫 大阪府健康福祉部長  
衛生学公衆衛生学教育協議会 高野健人 東京医科歯科大学大学院健康推進医学分野教授

### 救急系学会関係

日本救急医学会 島崎修次 杏林大学教授・救急医学教授  
日本麻酔科学会 花岡一雄 東京大学教授・麻酔科教授  
日本臨床救急医学会 有賀 徹 昭和大学医学部救急医学教授  
日本外傷学会 山本保博 日本医科大学附属病院高度救命センター教授  
日本蘇生学会 浅田 章 大阪市立大学救急医学・集中治療部教授

## 精神科系学会関係

精神科七者懇談会：卒後研修に関する委員会

日本精神神経学会	飯森眞喜雄	東京医科大学精神医学講座教授
国立精神医療施設長協議会	平野 誠	国立病院機構肥前精神医療センターセンター長
精神医学講座担当者会議	小島卓也	日本大学医学部精神神経科学教授
全国自治体病院協議会	川副泰成	総合病院国保旭中央病院精神神経科
精神科特別部会		
日本精神神経科診療所協会	松下昌雄	西落合診療所所長
日本精神科病院協会	関 健	城西病院院長
日本総合病院精神医学会	保坂 隆	東海大学医学部教授

## 放射線科系学会関係

日本医学放射線学会	大久保敏之	東京大学医科学研究所放射線科助教授
日本超音波医学会	竹中 克	東京大学医学部附属病院中央検査部講師
日本核医学会	油野民雄	旭川医科大学放射線科教授

(座長)

大臣官房厚生科学課長 上田博三

(幹事)

大臣官房参事官(健康担当) 瀬上清貴  
医政局総務課医療安全推進室長 北島智子  
医政局指導課長 谷口 隆  
医政局指導課医療計画推進指導官 針田 哲  
医政局医事課長 中垣英明  
医政局医事課医師臨床研修推進室長 宇都宮啓  
医薬食品局血液対策課長 関 英一  
労働基準局安全衛生部労働衛生課長 阿部重一  
雇用均等・児童家庭局母子保健課長 佐藤敏信  
社会・援護局障害保健福祉部精神保健福祉課長 矢島鉄也  
老健局老人保健課長 三浦公嗣  
国立保健医療科学院次長 林 謙治

(担当者)

医政局総務課課長補佐 田原克志  
医政局総務課医療安全推進室医療安全対策専門官 平野静香  
医政局指導課課長補佐 宮本哲也  
医政局医事課課長補佐 中村泰久  
医政局医事課医師臨床研修推進室臨床研修審査官 村岡 亮  
健康局総務課地域保健室室長補佐 平子哲夫  
医薬食品局血液対策課課長補佐 中山 鋼  
労働基準局安全衛生部労働衛生課中央労働衛生専門官 武末文男  
雇用均等・児童家庭局母子保健課課長補佐 斎藤慈子  
社会・援護局障害保健福祉部精神保健福祉課課長補佐 渡辺真俊  
老健局老人保健課課長補佐 神ノ田昌博  
国立保健医療科学院公衆衛生政策部主任研究官 川南勝彦

## 指導ガイドライン執筆者及び執筆協力者一覧(五十音順)

平成18年 2月14日現在 (142名)

赤木将男	あかぎ まさお	近畿大学大学院医学研究科整形外科学助教授
浅田 章	あさだ あきら	大阪市立大学医学部附属病院救急医学・集中治療部教授
朝田 隆	あさだ たかし	筑波大学大学院人間総合科学研究科病態制御医学専攻精神病態医学教授
浅野嘉延	あさの よしのぶ	国家公務員共済組合連合会千早病院内科医長
油野民雄	あぶらの たみお	旭川医科大学放射線医学講座教授
天野宏一	あまの こういち	埼玉医科大学総合医療センターリウマチ・膠原病内科助教授
天野史郎	あまの しろう	東京大学医学部附属病院角膜移植部部長
有賀 徹	あるが とおる	昭和大学医学部救急医学講座教授
飯田知弘	いいだ ともひろ	福島県立医科大学医学部眼科学講座教授
家崎貴文	いえさき たかふみ	順天堂大学医学部附属順天堂医院循環器内科助手
伊賀瀬道也	いがせ みちや	愛媛大学医学部老年医学講座助手
石川雅彦	いしかわ まさひこ	国立保健医療科学院政策科学部安全科学室長
石木幹人	いしき みきと	岩手県立高田病院長
石黒 隆	いしぐろ たかし	いしぐろ整形外科院長
石塚達夫	いしづか たつお	岐阜大学大学院医学研究科総合病態内科学分野・附属病院総合診療部教授
伊藤健吾	いとう けんご	国立長寿医療センター研究所長寿脳科学研究部長
井上 肇	いのうえ はじめ	厚生労働省大臣官房国際課課長補佐(前医政局医事課課長補佐)
今川彰久	いまがわ あきひさ	大阪医科大学第一内科講師
今村 聡	いまむら さとし	東京都医師会理事
江村 正	えむら せい	佐賀大学医学部附属病院卒後臨床研修センター専任副センター長
遠藤正之	えんどう まさゆき	東海大学医学部医学科内科学系助教授
尾内一信	おうち かずのぶ	川崎医科大学小児科学2教授
大内尉義	おおうち やすよし	東京大学大学院医学系研究科・医学部加齢医学講座 ・附属病院老年病科教授
大久保公裕	おおくぼ きみひろ	日本医科大学付属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科助教授
大久保憲	おおくぼ たかし	東京医療保健大学医療情報学科感染制御学教授
大久保敏之	おおくぼ としゆき	東京大学医科学研究所・附属病院放射線科助教授
大澤真木子	おおさわ まきこ	東京女子医科大学医学部小児科学教室主任教授
大滝純司	おおたき じゅんじ	東京医科大学病院総合診療科教授
太田昌宏	おおた まさひろ	太田西ノ内病院総合診療科部長
大西健児	おおにし けんじ	東京都立墨東病院感染症科医長
岡田 定	おかだ さだむ	聖路加国際病院内科医長
小川純人	おがわ すみと	東京大学大学院医学系研究科・医学部加齢医学講座助手
奥村 徹	おくむら てつ	順天堂大学医学部附属順天堂医院救急部救急室長
小澤秀樹	おざわ ひでき	東海大学医学部医学科内科学系助教授
片山容一	かたやま よういち	日本大学医学部脳神経外科学教授
門野岳史	かどの たかふみ	東京大学大学院医学系研究科・医学部皮膚科学教室講師
上碓俊法	かみさこ としのり	近畿大学医学部衛生学教室助教授

川尻真和	かわじり まさかず	愛媛大学医学部老年医学講座助手
川田浩志	かわだ ひろし	東海大学医学部医学科内科学系血液内科講師
川名正敏	かわな まさとし	東京女子医科大学附属青山病院長
川南勝彦	かわみなみ かつひこ	国立保健医療科学院公衆衛生政策部主任研究官
木澤義之	きざわ よしゆき	筑波大学附属病院総合診療グループ・医療福祉支援センター講師
木下牧子	きのした まきこ	医療法人社団輝生会初台リハビリテーション病院長
木原康樹	きはら やすき	神戸市立中央市民病院循環器内科部長
木村昭夫	きむら あきお	国立国際医療センター緊急部長
木村眞一	きむら しんいち	大阪厚生年金病院救急部長
日下隼人	くさか はやと	武蔵野赤十字病院小児科・臨床研修部長
久保恵嗣	くぼ けいし	信州大学大学院医学研究科・医学部内科学第一講座教授
黒坂大次郎	くろさか だいじろう	岩手医科大学眼科学教室教授
小島卓也	こじま たくや	日本大学医学部精神医学教授
小原克彦	こはら かつひこ	愛媛大学医学部老年医学講座助教授
小松眞史	こまつ まさし	市立秋田総合病院副院長
小宮根真弓	こみね まゆみ	東京大学大学院医学系研究科・医学部皮膚科学教室講師
古森公浩	こもり きみひろ	名古屋大学医学部・大学院医学系研究科血管外科学教授
近藤 哲	こんどう さとし	北海道大学大学院医学研究科腫瘍外科学教授
斉藤史郎	さいとう しろう	独立行政法人国立病院機構東京医療センター泌尿器科医長
齋藤貴生	さいとう たかお	(財)福岡県対がん協会会長
佐伯秀久	さえき ひでひさ	東京大学大学院医学系研究科・医学部皮膚科学教室講師
酒井 洋	さかい ひろし	埼玉県立がんセンター呼吸器科副部長
朔 義亮	さく よしすけ	雪ノ聖母会 聖マリア病院健康科学センター診療部長
佐々木崇	ささき たかし	岩手県立中央病院副院長
佐藤 誠	さとう まこと	筑波大学大学院人間総合科学研究科社会環境医学教授
佐野文明	さの ふみあき	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院血液・腫瘍内科副部長
澤口 毅	さわぐち たけし	富山市立富山市民病院関節再建外科部長
四宮謙一	しのみや けんいち	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科・医学部整形外科学教授
正田良介	しょうだ りょうすけ	国立国際医療センター総合診療科総合外来・教育部長
新保卓郎	しんぼ たくろう	国立国際医療センター研究所医療生態学研究部長 (前京都大学医学部附属病院総合診療部助教授)
菅谷 誠	すがや まこと	東京大学大学院医学系研究科・医学部皮膚科学教室医局長
住田俊和	すみだ としかず	厚生労働省医政局医事課医師臨床研修推進室主査
関 健	せき けん	城西医療財団 城西病院理事長・院長
關 博文	せき ひろぶみ	岩手県立中央病院脳神経外科教授
高倉義典	たかくら よしのり	奈良県立医科大学整形外科学教授・附属病院長
高橋一夫	たかはし かずお	島根大学医学部附属病院神経血液膠原病内科講師
高橋弘明	たかはし ひろあき	岩手県立中央病院医療研修科長
高林克日己	たかばやし かつひこ	千葉大学医学部附属病院企画情報部教授
高松英夫	たかまつ ひでお	鹿児島大学大学院医歯総合研究科・医学部小児病態制御学教授
高山哲夫	たかやま てつお	全国国民健康保険診療施設協議会副会長
竹中 克	たけなか かつ	東京大学医学部附属病院中央検査部講師
田所憲治	たどころ けんじ	日本赤十字社血液事業本部経営会議委員
田中克之	たなか かつゆき	聖マリアンナ医科大学脳神経外科学講師



田中純太	たなか じゅんた	新潟大学医歯学総合研究科第二内科医員
田中哲郎	たなか てつろう	国立保健医療科学院生涯保健部長
種田憲一郎	たねだ けんいちろう	国立保健医療科学院政策科学部主任研究官
田村浩一	たむら こういち	日本医科大学付属病院病理部助教授
常深祐一郎	つねみ ゆういちろう	東京大学大学院医学系研究科・医学部皮膚科学教室助手
積田俊也	つみた しゅんや	東海大学医学部付属八王子病院血液内科・一般内科助手
寺本信嗣	てらもと しんじ	東京大学大学院医学系研究科・医学部加齢医学講座講師
中澤 誠	なかざわ まこと	東京女子医科大学医学部循環器小児科学教室教授
中田勝巳	なかた かつみ	環境省総合環境政策局環境保健部企画課保健業務室主査 (前、厚生労働省医政局指導課主査)
中村哲也	なかむら てつや	獨協医科大学病院光学医療センター内視鏡部門長・助教授
中村真潮	なかむら ましお	三重大学大学院医学系研究科循環器内科学
中村泰久	なかむら やすひさ	厚生労働省医政局医事課医師臨床研修推進室臨床研修専門官
中山健夫	なかやま たけお	京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野助教授
中山秀章	なかやま ひであき	新潟大学医歯学総合研究科第二内科医員
永井秀雄	ながい ひでお	自治医科大学消化器・一般外科学教授
名川弘一	ながわ ひろかず	東京大学大学院医学系研究科・医学部臓器病態外科学講座腫瘍外科学 ・血管外科学教室教授
名郷直樹	なごう なおき	(社)地域医療振興協会地域医療研修センター長
二木芳人	にき よしひと	川崎医科大学附属病院呼吸器内科副医長
西川正憲	にしかわ まさのり	藤沢市民病院呼吸器科医長
西野 宏	にし の ひろし	自治医科大学耳鼻咽喉科学教室助教授
野田裕司	のだ ゆうじ	厚生労働省医政局医事課医師臨床研修推進室臨床研修指導官
畑尾正彦	はたお まさひこ	日本赤十字武蔵野短期大学教授
春名眞一	はるな しんいち	東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科助教授
伴信太郎	ばん のぶたろう	名古屋大学医学部附属病院総合診療部教授
半田 誠	はんた まこと	慶應義塾大学医学部輸血・細胞療法部助教授
肥塚直美	ひづか なおみ	東京女子医科大学医学部内分泌内科学(第二内科学)教室教授
平原史樹	ひらはら ふみき	横浜市立大学大学院医学研究科・医学部生殖生育病態医学教授
廣橋一裕	ひろはし かずひろ	大阪市立大学医学部附属病院総合診療センター長 ・卒後臨床研修センター長
福井次矢	ふくい つぐや	聖路加国際病院長
福岡敏雄	ふくおか としお	名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学助手
福沢嘉孝	ふくざわ よしたか	愛知医科大学消化器内科助教授
福田崇典	ふくだ たかのり	社会福祉法人神戸聖隷福祉事業団理事・保健事業部長
保坂 隆	ほさか たかし	東海大学医学部医学科基盤診療学系教授
前野哲博	まえの てつひろ	筑波大学附属病院総合臨床教育センター助教授
松村理司	まつむら ただし	洛和会音羽病院長
三木哲郎	みき てつろう	愛媛大学医学部老年医学講座教授
水木 泰	みずき やすし	山口県立病院静和荘院長
水嶋春朔	みずしま しゅんさく	国立保健医療科学院人材育成部長
箕輪良行	みのわ よしゆき	聖マリアンナ医科大学病院救命救急センター長
宮城良充	みやぎ よしみつ	沖縄県立中部病院副院長
三宅祥三	みやけ しょうぞう	武蔵野赤十字病院長

宮崎俊一	みやざき しゅんいち	国立循環器病センター心臓血管内科医長
宮崎正信	みやざき まさのぶ	長崎大学医学部・歯学部附属病院第2内科助教授
宮下修行	みやした なおゆき	川崎医科大学呼吸器内科学講師
三輪高喜	みわ たかき	金沢大学大学院医学系研究科・医学部脳病態医学助教授
村岡 亮	むらおか あきら	厚生労働省医政局医事課医師臨床研修推進室臨床研修審査官
元雄良治	もとお よしはる	金沢医科大学病院集学的がん治療センター長
森内浩幸	もりうち ひろゆき	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科・医学部発生分化機能再建学教授
森川昭廣	もりかわ あきひろ	群馬大学大学院医学系研究科・医学部小児生体防御学教授
矢崎善一	やざき よしかず	信州大学大学院医学研究科・医学部循環器内科講師
山俣達也	やまそば たつや	東京大学大学院医学系研究科・医学部耳鼻咽喉科学教室助教授
山田 治	やまだ おさむ	山口大学医学部保健学科病態検査学講座教授
山田正信	やまだ まさのぶ	群馬大学大学院医学系研究科・医学部内科系科講師
山本哲也	やまもと てつや	岐阜大学大学院医学研究科・医学部眼科学教授
横井則彦	よこい のりひこ	京都府立医科大学大学院医学研究科・医学部視覚機能再生外科学 助教授
横手幸太郎	よこて こうたろう	千葉大学医学部附属病院第二内科助手
吉井文均	よしい ふみひと	東海大学医学部医学科神経内科学教授
吉澤弘久	よしざわ ひろひさ	新潟大学医歯学総合病院生命科学医療センター助教授
米倉修司	よねくら しゅうじ	東海大学医学部付属八王子病院助教授・健診センター長
和田 淳	わだ じゅん	岡山大学医学部第三内科医局長
渡邊孝宏	わたなべ たかひろ	東京大学大学院医学系研究科・医学部皮膚科学教室講師
渡辺 毅	わたなべ つよし	福島県立医科大学医学部内科学第3教授